

2013年5月4日 11:00 キックオフ 秩父宮ラグビー場

ニュージーランド学生代表 v s 関東代表

ゴールデンウィークも後半真っ只中、日本晴れに恵まれた秩父宮ラグビー場。シリーズ第一戦関東学生代表、第二戦 U20 日本選抜を大差で一蹴した NZU、3 戦全勝を狙う。今シリーズ中最強メンバーを揃える関東代表も、最後の一戦で必勝を誓う。

観戦日和の陽気に誘われて集まった多くのファンの期待に応えて、関東代表はキックオフ直後から連続して攻め続ける。ミスにより一旦は攻撃権を失うものの、3分、NZU ゴール前スクラムから SH が蹴ったボールに鋭く反応した FL6 松田がチャージ、そのままインゴールで押えて先制トライを奪う。CTB13 三友のゴールも決まって 0-7 と幸先の良いスタートを切ることができた。

しかしながら、NZU も負けじと大きく左右に攻めて 14 分、No.8 キャプテン、オリバーが左隅にトライ、おしくもゴールははずれて 5-7。

その後、関東代表は 22 分、NZU のハイタックルによる反則から 13 三友が PG により加点。NZU も 34 分 PG を返して 8-10 となる。このまま前半終了、関東代表リードで折り返すと思われた 40 分、またまた NZU が大きく展開して CTB12 キャサーウッドがトライ、ゴールははずれたが、13-10、NZU リードで折り返すこととなる。

前半は関東代表がボールを保持する時間も多く果敢に攻めることができたものの、アンフォーストエラーによりボールを失い攻撃権を相手に与えてしまう場面が多く見られた。日本全体の課題がここでも垣間見られた形か。

後半、関東代表の巻き返しを期待するも、逆に NZU が 1 分、WTB11 ライトがあっさりとトライ。ゴールも決まって、20-10 と突き放す。8 分に NZU が追加点を奪い 27-10 とすると、11 分、関東代表 SO21 途中から入った木村がチームの反則繰り返しによるイエローカードで一時退場、その後は NZU のトライオンパレードとなってしまった。

関東代表は 41 分 22 伊藤が意地のトライを返すものの焼け石に水、53-15。今シリーズ 3 戦とも NZU が大差で勝利するという結果となった。

NZU は試合後サリッジコーチが記者会見で語った通り、試合途中で関東代表 BK ディフェンスに難点があるとみて、外側での勝負を仕掛けたことが功を奏した。NZUBK はこれに応えて脚力を存分に発揮した。

サリッジコーチ、オリバーキャプテンは声を揃えて、NZU の日本遠征は、これまでの交流が示しているとおり、ニュージーランドの様々な地方から集まった選手が結束を固めることができ、また日本の人々、文化を学ぶことができ、しかも、日本のトップリーグの選手達と戦うことができる貴重な体験である。今回は特に、前回両国の震災により叶えられなかったためにその期待もひとしおだった。これからも両国のラグビー発展のために、この交流を続けていきたい、と語っている。

その期待に資するチームを造って今後の対戦に備えていきたい。(澤村 豊)